

令和7年7月10日、隠岐水産高校で今年度1回目の「高校生の林業学習」が実施されました。同校では、LHR(ロングホームルーム)の時間にキャリア教育(職業選択の幅を広げる進路活動)を目的に林業学習に取り組んでいます。

今回は海洋システム科・海洋生産科の1年生を対象に、島内の豊富な森林資源やその公益的な機能について学びました。

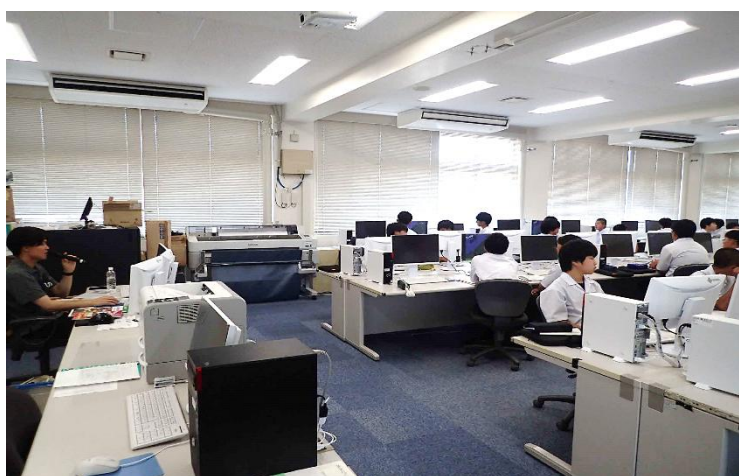
また、これらの貴重な資源を健全に維持し、未来にわたりその恵みを享受していくために、林業が果たす適切な管理作業の重要性についても理解を深めました。

講師は、島根県隠岐支庁農林水産局の職員が務めました。

生徒からは、「今まで林業について関心がなかったけれど、分かり易い授業で興味が持てた」との感想が多く聞かれました。

また、「島根県立農林大学校林業科のオープンキャンパスに参加してみたい」との声もありました。同校の3年生には、本年度のオープンキャンパスに参加した生徒もいます。

次回はチェーンソーの操作体験など、林業体験形式での実施を予定しています。



講師は、島根県隠岐支庁農林水産局
林業振興・普及第二課
藤岡 主任林業普及員



生徒の皆さんは、それぞれの席で資料を確認しながら、講師の話に熱心に耳を傾けていました。
次回の林業体験を楽しみにしている生徒も多くありました。